

小谷村は、森林に囲まれたところ。そして森林を形作る樹木たちは、材木に生まれ変わると様々な表情を見せてくれます。子どもの頃から木に慣れ親しみ木を好きになってくれたらいいな、との願いを込めて・・・

『おたりハローウッド事業』がはじまりました！



農林係は、森林環境譲与税を活用して村産の木から作った「木のおもちゃ」を新生児にプレゼントする【おたりハローウッド事業】を今年度より始めました。

対象は、生後4～5か月検診を受けるお子さんになります。

5月29日、保健センターで行われた乳幼児検診の前に最初のお渡し会を行い、島温泉のソメイヨシノで作った「木のガラガラ」を贈呈しました。



昨年、島温泉の1本のソメイヨシノが倒れてしまいました。この木は、北小谷村時代の村長によって植えられたもので、およそ100年は経っていると思われます。

人の大きさと比べると、かなり大きな木であることがわかります。

芯の部分は腐っていましたが、製材すると桜餅のような香りがたどよい、とても緻密ないい材です。

ヤマザクラは、木工家がこぞって欲しがりますが、このソメイヨシノもなかなかです。

「木のガラガラ」には、この材を使いました。



「木のガラガラ」を製作していただいたのは、白馬村在住の塩嶋達美さんです。塩嶋さんには、「ろくろマン」として『おたりの森と木であそぼうよ』にも参加していただきました。

塩嶋さんは、フルート奏者でもあります。

木工旋盤（ろくろ）を始めたきっかけは、木製フルートを自分で作りたい、とのことでした。松本市の木工職人の工房へ通い、独学で技術を習得していまに至ります。

「木のガラガラ」の中には、鈴が入っており、振るときれいな音が鳴るように作られています。



「木のガラガラ」を入れる箱に使った材は、中谷瑞穂の相澤誠男さんが農地の日陰を解消するために伐採したオニグルミです。「役に立つなら」と2年前に譲り受けたものです。

オニグルミは、家具材として人気の高い樹種です。

フタには、生年月日とお名前を焼き入れてあります。

「木のガラガラ」を包んだ布は、ソメイヨシノの製材くずを煮出して染めたものです。草木染でサクラの枝を使うとピンク色に染まりますが、今回は明るい黄色に染まりました。



倒れてしまった木の根株

島温泉の残ったソメイヨシノたちは、いつもの年より早くに美しく咲き誇りました。

サクラは、長年にわたって花として楽しませてくれますが、倒れてしまった後も新たな命を吹き込むことで、手触り、香り、色などを楽しませてくれます。

木とつながることで森とつながる、『おたりハローウッド事業』は赤ちゃんへのプレゼントだけでなく、様々な展開を模索していきます。

次号予告

『もうすぐキハダの皮剥ぎの季節』